

# 鳥取の 研修医たちの声

## 当直の際にも他科の先生方が 丁寧な指導してくださる

鳥取赤十字病院研修医1年目

### 太田 貴士氏

鳥取赤十字病院は東部地域における中核病院のひとつで、1915年に創設された96年の歴史がある病院です。

医師はもちろん、他職種の方々からも支えられながら、病院全体で研修医を育てることを理念とし、また、医師が非常に大切にされる環境であるという話を聞き、当院で研修することに決めました。

各種超音波や内視鏡などの検査や、CVカテーテル挿入などの手技も実際にやらせてもらえることが多いですが、こういった

日々の仕事だけでなく、当直の際は他科の先生方にも丁寧に指導していただき、看護師さんやコ・メディカルの皆さんにも細かいフォローをしてもらって、とても助かっています。こうしたサポートがあってこそ、多くの症例を経験できるのだと考えています。

これまで、あるいはこれからさまざまな科で経験することは、今後どんな科に進むにしても、医学全体を理解するうえで、大切な知識の礎になると考えています。



## 大学と市中病院など いろいろな現場において研修ができる。

鳥取大学医学部附属病院研修医1年目

### 奈良井 哲氏

こんにちは、研修医1年目の奈良井と申します。私は地元で研修したいと考え、初期臨床研修で鳥取大学医学部附属病院を選択しました。大学病院は各診療科が専門化しており課題もいろいろありますが、指導医の先生がマンツーマンでとても丁寧に指導してくださるので、少しずつですが自分でできる処置や手技、経験や知識が増えていくのが実感でき、やり甲斐と使命感のある充実した日々を送っています。研修修了後も大学病院に残って後期研修をしたいと考えています。

鳥大病院では研修ローテーションを自由に組み、月に数回各診療科の先生によ



る種々のセミナーや医療機器の使用手法説明会等、さまざまな企画も準備されています。さらに、たすきがけで、鳥取大学関連病院での研修も可能であり、大学と市

中病院などさまざまな現場において研修ができるのはとても良い点であると思います。充実した研修を送れると思いますので、ぜひ、鳥取大学での研修をおすすめします。